



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月28日

上場会社名 太平洋工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7250 URL https://www.pacific-ind.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川信也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 渡辺智 (TEL) 0584-93-0117
 四半期報告書提出予定日 2020年11月5日 配当支払開始予定日 2020年11月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	64,827	△21.7	862	△81.6	1,313	△73.4	942	△72.9
2020年3月期第2四半期	82,765	28.7	4,683	19.1	4,935	△2.5	3,473	△9.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 777百万円(△61.6%) 2020年3月期第2四半期 2,026百万円(△60.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	15.58	15.53
2020年3月期第2四半期	57.53	57.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	208,475	98,351	46.8
2020年3月期	204,280	98,422	47.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 97,590百万円 2020年3月期 97,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	16.00	—	14.00	30.00
2021年3月期	—	10.00			
2021年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,000	△12.6	6,000	△42.9	6,500	△41.6	4,500	△38.0	74.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	61,312,896株	2020年3月期	61,312,896株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	798,055株	2020年3月期	868,865株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	60,481,867株	2020年3月期2Q	60,384,449株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】	2
(1) 【経営成績に関する説明】	2
(2) 【財政状態に関する説明】	2
(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】	3
2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】	4
(1) 【四半期連結貸借対照表】	4
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	6
【四半期連結損益計算書】	6
【四半期連結包括利益計算書】	7
(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】	8
(4) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】

(1) 【経営成績に関する説明】

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日。中国とフランスの子会社は2020年1月1日～2020年6月30日の業績を連結）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、急激に減速しました。同感染症の拡大防止のため、各国・各地域で都市封鎖、人・物の移動制限、外出規制が行われ、消費需要は低下、生産活動は停滞しました。このような中、当社グループは「感染防止・生産体制維持を第一義に、GLOCALで足元固めをする」方針のもと、社員の感染防止、受注変動に合わせた生産調整、雇用維持と公的助成制度の活用、仕入先とのサプライチェーンの維持、投資の抑制・延期、コミットメントライン設定による運転資金の確保等を行ってまいりました。さらに、例年の原価改善活動を上回る、グループを挙げた収益改善・固定費削減活動を推進し、黒字化に取り組んでまいりました。

その後、世界経済は同感染症の拡大を警戒しつつ徐々に活動を再開しておりますが、今後、第2波の発生も懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界におきましては、主要顧客の自動車生産台数は、第1四半期連結会計期間では前年同期比で大幅な減産となりましたが、第2四半期連結会計期間では減産度合いが弱まり、また中国においては前年同期を上回る生産となりました。

これを受け、当社グループの第2四半期連結会計期間は、収益改善・固定費削減活動の成果に加え、生産が回復したこと等により、業績は黒字となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、648億27百万円（前年同期比21.7%減）となりました。利益面では、売上減による利益減があるものの、収益改善・固定費削減活動の成果などにより、営業利益8億62百万円（前年同期比81.6%減）、経常利益13億13百万円（前年同期比73.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億42百万円（前年同期比72.9%減）と、黒字を確保することができました。

【セグメント別の状況】

（プレス・樹脂製品事業）

コロナ影響による受注減により、当事業全体の売上高は457億9百万円（前年同期比19.3%減）となりました。利益面では、収益改善・固定費削減活動の成果と顧客の生産回復により第2四半期連結会計期間は黒字化したものの、第1四半期連結会計期間の赤字をカバーするまでには至らず、第2四半期連結累計期間は営業損失2億32百万円（前年同期は営業利益14億22百万円）となりました。

（バルブ製品事業）

コロナ影響による受注減により、当事業全体の売上高は190億59百万円（前年同期比26.8%減）となりました。利益面では、収益改善・固定費削減活動の成果と顧客の生産回復により第2四半期連結会計期間は黒字化したうえ、第1四半期連結会計期間の赤字をカバーすることができたため、第2四半期連結累計期間は営業利益10億80百万円（前年同期比66.8%減）と黒字を確保しました。

（その他）

その他は主に情報関連事業等のサービス事業から成っており、売上高は58百万円（前年同期比24.1%減）、営業損失は10百万円（前年同期は営業損失18百万円）となりました。

なお、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値であります。

(2) 【財政状態に関する説明】

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は2,084億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して41億95百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は622億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億31百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が40億50百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が17億6百万円、たな卸資産が9億15百万円それぞれ減少したことによるものであります。受取手形及び売掛金の減少は、主に売上高の減少によるものであります。

固定資産は1,461億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して29億63百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産が26億66百万円増加したことによるものであります。有形固定資産の増加は、主に生産準備に係る設備・金型等の投資であります。

負債の部では、流動負債は440億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億57百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金32億91百万円、1年内返済予定の長期借入金が18億16百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が8億49百万円、電子記録債務が17億83百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は660億59百万円となり、前連結会計年度末と比較して30億8百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が29億47百万円増加したことによるものであります。長期借入金は主に設備投資資金に充当することとしております。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金が9億20百万円増加しましたが、為替換算調整勘定が10億75百万円減少したこと等により、前連結会計年度末から70百万円減少し983億51百万円となりました。

有利子負債は、コロナ影響による売上減への備えや、将来の企業価値向上に必要な投資を精査のうえ継続して行ったこと等により、前連結会計年度末から80億48百万円増加し、717億5百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は46.8%となり、前連結会計年度末と比較して、1.0ポイント減少しました。

(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

当社グループは、日本および海外8カ国に生産・販売拠点があり、グローバルに新型コロナウイルス感染症の影響を受けております。同感染症の今後の広がり方や収束時期は不透明なうえ、経済に与える影響は拠点によって程度が異なり、先行きの予想が難しい状況にあります。

このような中、第2四半期連結会計期間において、グループを挙げた収益改善・固定費削減活動の成果および主要顧客の生産回復が、当初の想定を上回りました。これらが主要因となり、当社の第2四半期（累計）連結業績実績は、予想を上回り黒字を確保できました。

加えて、最新の各国の規制状況や顧客の生産情報、各種経済予測等の入手可能な情報に基づき、第3四半期以降も徐々に回復していくとの想定のもと、通期の連結業績予想を修正いたしました。なお、第3四半期連結会計期間以降の為替レート的前提は、1US\$=105円と置いております。

これらの想定には不確実性が含まれているため、今後の同感染症の拡大状況等によっては、実際の業績が予想から大きく乖離する可能性があります。

2021年3月期 通期の連結業績予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	135,000	2,000	3,000	2,000	33.06
今回修正予想(B)	145,000	6,000	6,500	4,500	74.38
増減額(B-A)	10,000	4,000	3,500	2,500	—
増減率(%)	7.4%	200.0%	116.7%	125.0%	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	165,969	10,511	11,130	7,256	120.12

2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,315	22,366
受取手形及び売掛金	24,452	22,746
商品及び製品	6,522	5,992
仕掛品	4,638	4,333
原材料及び貯蔵品	3,829	3,749
その他	3,375	3,185
貸倒引当金	△74	△81
流動資産合計	61,060	62,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,155	25,511
機械装置及び運搬具（純額）	41,729	42,714
工具、器具及び備品（純額）	5,499	5,882
土地	9,884	9,910
リース資産（純額）	1,219	1,179
建設仮勘定	13,873	15,830
有形固定資産合計	98,361	101,028
無形固定資産		
のれん	8,056	7,435
その他	5,626	5,297
無形固定資産合計	13,682	12,732
投資その他の資産		
投資有価証券	25,796	27,113
その他	5,382	5,311
貸倒引当金	△3	△2
投資その他の資産合計	31,175	32,422
固定資産合計	143,219	146,183
資産合計	204,280	208,475

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,876	10,027
電子記録債務	7,017	5,233
短期借入金	4,720	8,011
1年内返済予定の長期借入金	6,450	8,267
未払金	4,457	4,614
未払法人税等	583	468
賞与引当金	1,563	1,398
役員賞与引当金	57	13
その他	7,080	6,028
流動負債合計	42,807	44,064
固定負債		
長期借入金	52,471	55,419
役員退職慰労引当金	184	158
退職給付に係る負債	682	650
その他	9,712	9,831
固定負債合計	63,050	66,059
負債合計	105,858	110,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,316	7,316
資本剰余金	7,705	7,744
利益剰余金	73,443	73,533
自己株式	△246	△224
株主資本合計	88,220	88,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,653	11,573
為替換算調整勘定	△1,139	△2,214
退職給付に係る調整累計額	△176	△137
その他の包括利益累計額合計	9,337	9,220
新株予約権	184	141
非支配株主持分	680	618
純資産合計	98,422	98,351
負債純資産合計	204,280	208,475

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	82,765	64,827
売上原価	71,595	58,276
売上総利益	11,170	6,550
販売費及び一般管理費	6,486	5,688
営業利益	4,683	862
営業外収益		
受取利息	47	15
受取配当金	341	321
持分法による投資利益	204	84
助成金収入	1	217
その他	153	217
営業外収益合計	747	857
営業外費用		
支払利息	128	190
為替差損	323	178
その他	42	37
営業外費用合計	495	406
経常利益	4,935	1,313
特別損失		
固定資産除売却損	81	45
特別損失合計	81	45
税金等調整前四半期純利益	4,854	1,268
法人税等	1,381	373
四半期純利益	3,473	895
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△47
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,473	942

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,473	895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,024	892
為替換算調整勘定	△2,369	△1,032
退職給付に係る調整額	△68	38
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	△16
その他の包括利益合計	△1,446	△117
四半期包括利益	2,026	777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,027	825
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△48

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,854	1,268
減価償却費	7,029	7,309
のれん償却額	490	460
株式報酬費用	7	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	7
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	55	28
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2	△31
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27	△163
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	△44
受取利息及び受取配当金	△388	△337
支払利息	128	190
為替差損益 (△は益)	110	122
持分法による投資損益 (△は益)	△204	△84
有形固定資産除売却損益 (△は益)	50	25
売上債権の増減額 (△は増加)	2,439	1,482
たな卸資産の増減額 (△は増加)	95	786
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	307	167
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△314	32
仕入債務の増減額 (△は減少)	△580	△2,453
その他の負債の増減額 (△は減少)	153	△467
その他	-	△14
小計	14,180	8,295
利息及び配当金の受取額	429	344
利息の支払額	△200	△193
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,308	△556
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,101	7,890
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△257	△248
定期預金の払戻による収入	257	248
有形固定資産の取得による支出	△10,851	△10,911
有形固定資産の売却による収入	12	1
無形固定資産の取得による支出	△19	△18
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	3	0
長期貸付けによる支出	△3	△4
長期貸付金の回収による収入	4	5
その他	△383	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,239	△10,896

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7	3,300
長期借入れによる収入	2,605	6,870
長期借入金の返済による支出	△3,891	△1,907
非支配株主からの払込みによる収入	8	-
リース債務の返済による支出	△46	△79
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	0
配当金の支払額	△1,153	△852
非支配株主への配当金の支払額	△27	△13
その他	△7	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,520	7,310
現金及び現金同等物に係る換算差額	△475	△257
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,133	4,046
現金及び現金同等物の期首残高	21,488	18,066
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,355	22,112

(4) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	56,646	26,041	82,688	77	82,765	—	82,765
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	194	194	△194	—
計	56,646	26,041	82,688	272	82,960	△194	82,765
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,422	3,257	4,680	△18	4,662	21	4,683

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額21百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	45,709	19,059	64,769	58	64,827	—	64,827
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	187	187	△187	—
計	45,709	19,059	64,769	246	65,015	△187	64,827
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△232	1,080	847	△10	837	25	862

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額25百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当社グループは、日本および海外8カ国に生産・販売拠点があり、グローバルに新型コロナウイルス感染症の影響を受けております。同感染症の今後の広がり方や収束時期は不透明なうえ、経済に与える影響は拠点によって程度が異なり、先行きの予想が難しい状況にあります。

このような中、第2四半期累計の連結業績実績に加え、各国の規制状況や顧客の生産情報、各種経済予測等の入手可能な情報に基づき、第3四半期以降も徐々に回復していくとの想定のもと、有形固定資産および無形固定資産の減損会計の適用、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

上記の想定は、前事業年度の連結財務諸表の作成に用いた想定から、重要な変更はありません。

これらの見積りには不確実性が含まれているため、予測不能な前提条件の変化等により見積りが変化した場合には、結果として将来追加で費用または損失を計上する可能性があります。